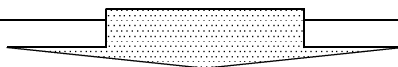


第6学年国語科学習指導案

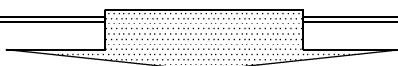
日時 平成26年9月30日(火) 5校時
 児童 男子8名 女子9名 計17名
 指導者 教諭 後藤 孝一

1 言語活動のGPS (Grade=発達段階の明確化, Process=学習過程の明確化, Style=言語活動の種類や特徴の明確化) 「単元名 命シリーズを読んで、人物の生き方をまとめよう」

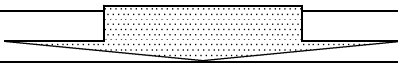
| 児童の実態 | | | |
|---|--|---|---|
| ○関心・意欲・態度 | ○身に付いている言語能力 | ○まだ身に付いていない言語能力 | ○既習事項・内容 |
| <ul style="list-style-type: none"> 読書を好む児童が多い。 グループで交流することを好む児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 設定をとらえる力。 登場人物の心情の変化を叙述に即して読む力。 | <ul style="list-style-type: none"> 作者の述べたい内容について考えながら読む力。 登場人物の相互関係を捉え、自分の体験をもとに考えをまとめる力。 | <ul style="list-style-type: none"> 要旨を書くこと。 感想を書くこと。 人物像と、人物どうしの関わりに気を付けて読むこと。 |



| |
|---|
| <p align="center">「読むこと」の能力を育てるための指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。【読むこと(1)エ】 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。【読むことオ】 |
|---|



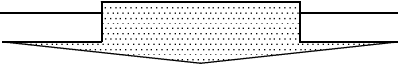
| |
|--|
| <p align="center">本単元で身に付けさせたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物の生き方について自分の考えをまとめる力。 ←人物相関図をかき、人物どうしの関係をとらえる。 自分の考えを広げたり、深めたりする力。 ←命シリーズを読んで、リーフレットを作り、図書館に置く。 |
|--|



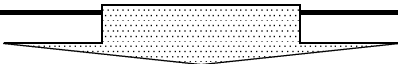
| | |
|---|--|
| <p>表現様式 「命シリーズのリーフレット」 人物相関図・生き方・自分の考えの深まりを書いたリーフレット</p> | <p>言語活動 ◎「命シリーズを読み、リーフレットを作ろう」 ・登場人物同士の相互関係、登場人物の生き方、自分の考えの深まりをリーフレットとしてまとめる。</p> |
|---|--|



| 言語活動を支えるための知識・技能 | | |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| ○リーフレットを書く。 ・文章の中からリーフレット作りに合った情報を見つけ出す知識。 | ○相手に伝える。 ・本を読んで自分の考えでの深まりを伝える技能。 | ○文章構成を考える。 ・あらすじや人物の相互関係を読み取る技能。 |



| |
|--|
| 学習材 並行読書 「海の命」(光村図書6年) 立松 和平(命シリーズ) 山の命・木の命・田んぼの命 |
|--|



| |
|--|
| <p align="center">指導計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第一次-学習課題をつかみ、単元の見通しをもつ。 ○第二次-「海の命」のリーフレットを作る。 ○第三次-「海の命」の読みを活かして命シリーズのリーフレットを作る。 |
|--|

2 児童への事前調査

| 調査事項 | 好き | どちらかという好き | どちらかという嫌い | 嫌い |
|-------------------|----|-----------|-----------|----|
| Q1 国語の学習は、好きですか。 | 6 | 6 | 3 | 2 |
| Q2 説明文の学習は、好きですか。 | 7 | 5 | 1 | 4 |
| Q3 物語の学習は、好きですか。 | 10 | 4 | 3 | 0 |
| Q4 話し合う学習は、好きですか。 | 4 | 6 | 5 | 2 |
| Q5 読書は、好きですか | 11 | 4 | 0 | 2 |

(調査人数17人 平成26年6月調査)

3 単元の指導目標と評価基準

| 指導目標 | 関心・意欲・態度 | 読むこと | 伝統的な言語と文化と国語の特質に関する事項 |
|------|---|--|--------------------------------------|
| | 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることができる。 | 登場人物同士の関わり合いや心情をとらえ、本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 | 感想文を読み合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。 |
| 評価基準 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
| | 登場人物の相互関係や心情を理解し、自分の経験と重ねて共感したり反発したりしながら読もうとしている。 | 登場人物どうしの関わり合いと心情の変化をとらえ、感想をもっている。(エ) 友達の感想により、自分の考えを深めている。(オ) | 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもっている。(イ(カ)) |

4 単元の指導計画と評価計画(8時間)

| 次 | 指導目標 | 時 | 主な学習活動 | 具体的評価規準 |
|-----|---|---|--|---|
| 第一次 | ○学習課題をつかみ、単元の見通しをもつことができる。 | 1 | ○自分の将来像や生き方について考え、学習意欲を持つ。 ○リーフレットについて知り、構成要素をもとに命シリーズのリーフレットを作り図書室に展示する活動計画を立てる。 | 進んで自分の生き方や将来像について発言しようとする。 (関心・意欲・態度) |
| 第二次 | ○海の命のリーフレット作りを通して登場人物同士の関わり合いや心情の変化をとらえたり、交流を通して自分の考えを深めたりすることができる。 | 2 | ○「海の命」の舞台・登場人物・出来事・文章構成の特徴などをおさえ、あらすじを書く。 | あらすじをつかみ、リーフレットに書いている。 (読むこと エ) |
| | | 3 | ○太一と太一を取り巻く人々との関係をつかみ、人物相関図に書く。 | 太一を取り巻く人々の人物相関図をリーフレットに書いている。 (読むこと エ) |
| | | 4 | ○「海の命」の山場をとらえる。 | 海の命の山場をとらえている。 (読むこと エ) |

| | | | | |
|-----|----------------------------------|--------|--|---|
| | | 5 | ○山場からとらえた太一の成長や生き方を交流し、自分が考えたことをリーフレットに書く。 ・心に残った太一の姿 | 太一の成長や生き方を話し合い考えたことをリーフレットに書いている。 (読むこと オ) |
| | | 6 | ○太一の姿を通して深まった考えをリーフレットに書く。 ・太一から学んだこと ・物語を読む前後で深まった自分の考え | 太一の姿を通して自分の深まった考えをリーフレットに書いている。 (読むこと オ) |
| 第三次 | ○「海の命」の読み方を生かして、命シリーズのリーフレットを作る。 | 7 8 | ○海の命で学習したことをもとに自分の選んだシリーズのリーフレットを作り発表する。 | 学習したことを元に読み進めリーフレットを作っている。 (読むこと オ) 進んでリーフレット作りをしようとする。 (関心・意欲・態度) |

5 本時の指導（5／8時間）

（1） 目標

「海の命」の山場からとらえた太一の成長や生き方を交流することによって考え、リーフレットにまとめることができる。

（2） 具体の評価規準

| A | B | 指導の手立て |
|---|--------------------------------------|----------------------------|
| 作品の山場から、太一の成長や生き方を交流によってとらえ、他者の意見を自覚的にとらえてまとめることができる。 | 太一の成長や生き方を話し合い考えたことをリーフレットに書くことができる。 | グループで話し合ったときの友達の考えを参考にさせる。 |

（3） 本時の指導事項

「海の命」の山場をとらえ、太一の成長や生き方に対する自分の考えをリーフレットに書くことを目標とする。

本単元では、「人物相互の関係・物語の山場、登場人物の心の変化や成長を端的に書き表す・太一の姿を通して深まった考え」の3点をリーフレットに取り入れるよう読み取りを進めていく。そのため、本時では以下の活動をしていく。

まず、物語の山場をとらえ、端的に書き表すために既習教材でモデルを示したり視点を示したりして適切な箇所を選び、書き出す。次に、なぜ太一の気持ちに変化が現れたのかについてグループで話し合いをし、自分の考えを深めていく。

以上のような活動を通して、文学的な文章の解釈に迫らせる。

(4) 展開

| 段階 | 学習活動 | 発問や指示 (○) 児童の反応 (・) | 評価 (*) 及び留意事項 (・) |
|---------|--|--|--|
| つかむ5分 | 1 本時の課題を確認する。 | ○課題を確かめましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 交流を通して、太一はどのような成長をしたのか明らかにしよう。 </div> | ・本時は「海の命」の山場から太一の成長などを読み取り、リーフレットに書くことを確認する。 |
| さぐる15分 | 2 山場の確認をする。 3 太一の成長や生き方を話し合う。 | ○山場はどの場面でしたか。 ・5の場面です。 ○山場をどのようにまとめましたか。 ・一人前の漁師になりたい太一 ・クエを殺さなかった太一 ・クエを海の命だと思った太一 ・瀬の主を殺さないですんだ太一 ○山場から見えてきた太一の成長や生き方をグループで話し合います。 ・一人前の漁師になりたかったのはおとうを超えたかったからだと思います。 ・クエを殺さなかったのは、与吉じいさの言葉を思い出したからだと思います。 ・クエを殺さなかったのは自分の欲のために殺してはいけないと思ったんだと思います。 ・瀬の主を殺さないですんだのはクエをおとうだと思ふことにしたからだだと思います。 | ・山場の確認をさせる。 ・短冊に書いたもので確認する。 ・前時の自分の考えをもとに交流し、友達の見解から自分の考えを広めるよう声をかける。 ・なぜ太一の気持ちが変わったのかを人物相関図に着目させ、太一に関わる人々が、どのような影響を与えてきたかを考えさせる。 * 交流学习をし、自分の考えを深めることができたか。 (読むこと オ) |
| ふかめる20分 | 4 太一の成長や生き方を文章に書く。 5 並行読書をしている本についてリーフレットに書く。 | ○話し合いを参考に、自分の考えをリーフレットに書きましょう。 ・はじめはクエを捕らなければ父を超えることはできないと思っていたけど、与吉じいさやお父さんの言葉の意味を理解し、クエを海の命だと思えるように考えが変わりました。 ○本時の学習を基に並行読書をしている本についてリーフレットに書く内容をノートに書きましょう。 ○リーフレットに書いたものを発表しましょう。 | ・話し合いで深まった自分の考えをリーフレットに書くようにさせる。 * 山場から登場人物の生き方などを見つけノートに書くことができたか。(読むこと エ) ・2～3名に発表させる。 |

| | | | |
|-----------|---------------|---------------------------------|----------------------|
| まとめ 5分 | 6 本時の学習を振り返る。 | ○学習の振り返りをしましょう。 | ・簡単な振り返りをする。 |
| | 7 次時の学習を確認する。 | ○次の時間は太一から学んだ自分の考えをリーフレットに書きます。 | ・がんばりを認め、次時の意欲付けをする。 |

(5) 板書計画

太一の成長や生き方

人物相関図

```

graph TD
    Taichi[太一] --- Mother[母]
    Taichi --- Father[父]
    Taichi --- Yoshiisa[与吉いさ]
    Taichi --- Kue[クエ]
    Taichi --- Umi[海]

```

山場 5の場面

- ・一人前の漁師になりたかった太一
- ・クエを殺さなかった太一
- ・瀬の主を殺さないですんだ太一

海の命

立松 和平

交流を通して、太一はどのような成長をしたのか明らかにしよう。

6年 「物語を読んで考えを深めよう」

5 / 8 時間

1 交流のねらい

交流を通して自分の考えを深め、広げる。

2 話題

山場から太一の成長や様子を読み取り、自分の考えを広げていこう。

3 話し合いの見通し

話し合いの視点

- ・考えがまとまらずに作業が止まっている児童への助言できているか。

発表のさせ方

個人発表。

話し合いのさせ方

生活班で自由に意見を出し、自分の考えをノートに書き込む。

予想される意見・考え

- ・一人前の漁師になりたかったのはおとうを超えたかったからだと思います。
- ・クエを殺さなかったのは、与吉じいさの言葉を思い出したからだと思います。
- ・クエを殺さなかったのは自分の欲のために殺してはいけないと思ったんだと思います。
- ・瀬の主を殺さないですんだのはクエをおとうだと思ふことにしたからだと思います。

4 話し合いのまとめ、発展のさせ方

班で交流し、数名全体発表をする。